

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.249)

1. 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます

昨年8月に豊田PCB処理事業所長として着任いたしました石垣です。平成24年4月から平成31年4月末までの約7年間所長を務めさせていただいており、再度の所長就任となります。改めまして、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、当事業所は令和5年度末に高濃度PCB廃棄物の処理が終了し、施設の解体撤去を行う新たなステージに移行しました。これまでのPCB廃棄物処理の過程で付着したPCBの除去分別を行いながら、設備や建物などの解体撤去工事を進める必要があります。ここ数年間は、この作業を継続していくこととなります。以前と同様に、何よりも安全が最優先という基本的な考え方を継承しつつ、早期の解体撤去完了に向けて取り組んでいく所存です。皆さまには、解体撤去の進捗状況につきまして、逐次この「事業だより」において情報をお伝えいたします。

今年も引き続き、地域の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



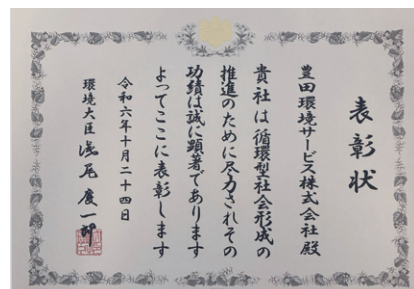
令和7年1月
豊田PCB処理事業所長 石垣 喜代志

2. 毎月21日は「安全の日」

11月21日の安全の日に安全集会を開催し、所長からは12月の定期点検に向けて、過去の禁止作業による事故事例を基に、安全管理を徹底するよう訓示がありました。

また、運転会社社長からは、10月24日に「3R推進全国大会」で、当事業所の運転会社である豊田環境サービス(株)が、循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰を受賞したことが報告されました。

この受賞は、様々な困難の中で商用として日本で初めてのPCB廃棄物処理を、安全な操業と確実な処理を完了した功績が評価され、北九州と大阪の各事業所の運転会社と共に表彰されたものです。



3. 秋期定期点検を実施

12月3日から22日に、秋期定期点検を実施しました。現在、施設の解体撤去を進めていますが、解体撤去中も稼働する設備があり、必要に応じて点検整備を実施しています。

今回は、冷却塔と活性炭吸着槽の点検整備を紹介します。

冷却塔は、蒸留設備や空調設備などに冷却水を供給する設備で、今後も使用を継続します。この設備は、水を循環させ風を送って冷却しますが、常時運転していることで汚れが堆積し、冷却能力が低下するため、定期的な洗浄が不可欠です。

安全に作業するため足場を設置していますが、「高所作業」となることから安全帯を着用して作業を進めます。



(冷却塔の作業用足場)



(活性炭の交換作業)

給排気設備は、PCBを含む排気を外に出さないために、2段の活性炭吸着槽でPCB等を吸着除去してから排出する設備です。

一定期間活性炭吸着槽を使用すると、吸着力が飽和し吸着できなくなるので、そうなる前に活性炭の交換が必要です。

密閉空間での作業のため、「酸素欠乏危険作業」として、酸素濃度の測定と送風機の設置など安全対策を徹底して、交換作業を実施しています。

4. 冬の交通安全街頭活動に参加しました

12月3日に師走の冷えた青空の下、「年末の豊田市交通安全市民運動」に参加しました。

当事業所からは、JESCOと運転会社の社員16名が交通安全の横断幕やのぼりを立て、ハンドサインを掲げて、通行するドライバーに『Stop横断歩道歩行者発見!』『ゆっくり停止・発進』など、安全運転を呼びかけました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

